

「令和3年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第2回）」
議事概要

I 日 時

令和3年9月30日（木）

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎寺林 努（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○矢野 奈保子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 令和3年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 令和3年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

（2）その他

V 議事内容

（1）① 令和3年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 令和3年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

- I：随意契約等における価格交渉状況
- II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
- III：低落札率案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な意見及び当機構の回答	
意見	回答
<ul style="list-style-type: none">・連続性のあるプロジェクトを随意契約とする場合には、契約先を変えることも意識した対策を講じること。・予定価格の設定について、一者応札になると自由枠のようになってしまうので、慎重に行うこと。	<ul style="list-style-type: none">・システム開発などでベンダーロックインを排除する方針であり、今後もその方針にて調達を行うこととしたい。・引き続き、業者から提示された見積額をそのまま使うということではなく、予定価格について精査する。

(2) その他

令和3年10月～12月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上